

《 コラム 》 Vol.32

ノビスック開発の話（その3） 工業用指サックは一般の市場に受け入れてもらえるか？

はたして工業用指サックは一般の方々に受け入れてもらえるだろうか？
いざ販売してみて、「ただの薄い指サックじゃね？」とか、
「手袋の先ツポを切っただけなんじゃね？」なんて思われもしたら、元も子もありません。
ここはひとつ一般の方々に受け入れてもらえるかどうか、実際に確認する必要があります。

確認する方法は・・・最も単純な方法を取らせて頂きました。
工業用指サックを知らない方々に、実際に工業用指サックを使用してもらうことです。（おお、単純明快！）
指サックを使いそうな知人に、片っ端から（両端からではだめなのか？）サンプルを配布してみました。
すると・・・
「スマホが使えるのがいいねえ。」
「今までの指サックよりも使いやすいよ！」
なかなかの高評価です。
一般の方々に受け入れてもらえるだろうか？・・・その答えは割と簡単に見つかりました。

そしてその答えを決定付けたエピソードが、ホームページに掲載の
「お願い、その指サックだけは置いて行って！」の件です。
<https://innoventech.co.jp/products/nobisack/nobisack07.html>
これで一般市場への参入の覚悟が決まりました。
めでたし、めでたし。

ちよいとお待ちを。めでたしにはまだ早すぎます。
市場参入する前に最後の難題が残っております。
それは・・・パッケージの「入数」と「価格」の決定です。
このお話は長くなりそうなので次回のコラムにて。

ここから先は、別のお話になります。
2019年頃から始めた、自称「ノビスックプロジェクト」。（もっとカッコいい名前はないのか？）

早いもので4年以上の月日が経過しました。
工業用指サックを一般の市場に広めるという挑戦です。

まあ～、いざやってみますとスッタモンダがありました。
今まで何とかやってこられたのも皆様のご支援、ご協力があったのことと思っ
ております。
お陰様で何とかローンチ（Launch）できたと思います。（感謝！）

コラム Vol.2でお話しましたが、残念ながら現在のノビサック販売量では、まだ
市場参入の域には達しておりません。
引き続きご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

さて、ここ最近で強く感じるがあります。
それは・・・ノビサックに関する私の仕事は殆ど終わっている・・・ということです。
これから先の仕事は、私以外の人がやっても結果はあまり変わらないと思っ
ております。

ですので、私自身の仕事としましては、これからは工業用指サックに焦点を当て
ていきたいと思えます。
まず手始めとして SEMICON JAPAN へ出展してみます。
さて、日本の市場にどこまで食い込めるか！？
新たな挑戦が始まります！